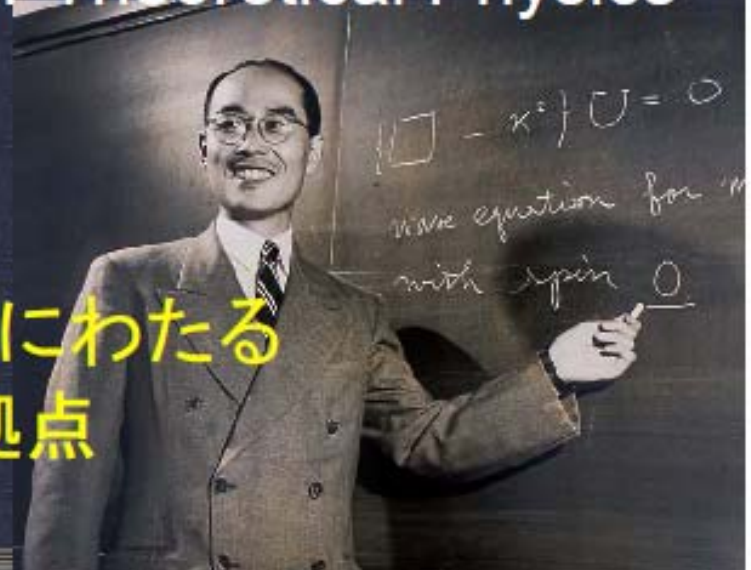


基礎物理学研究所

Yukawa Institute for Theoretical Physics



理論物理学全般にわたる
国際研究拠点



数学・数理学の全国共同利用研究所として



数理解析研究所では

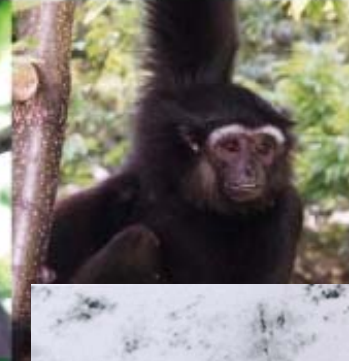
大規模な研究者交流が
日常的に行われています

- 年間約70件の研究会の開催
- 年間延4000人を越える研究者の訪問
- 年間200人を越える外国人研究者の訪問
- 数学関係の蔵書7万冊を越える図書室
- 学術専門誌 Publ. RIMS と講究録の発行
- プロジェクト研究の推進

最先端の数学・数理学研究者が集う
国際的な場であり活発な情報交換と研究を
推進しています



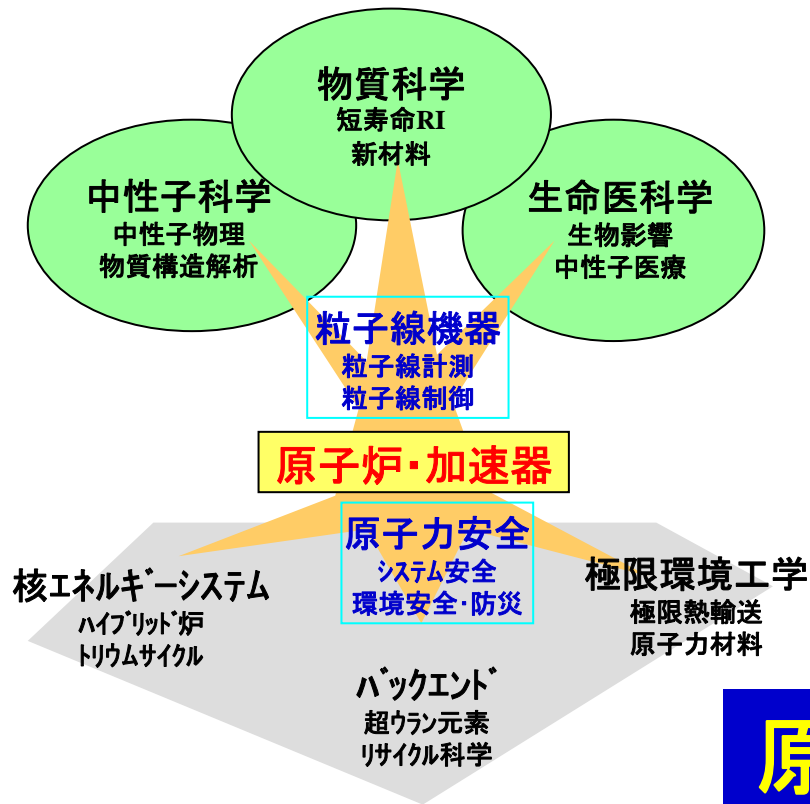
世界中の霊長類を研究しています。



全国に唯一の
霊長類研究所



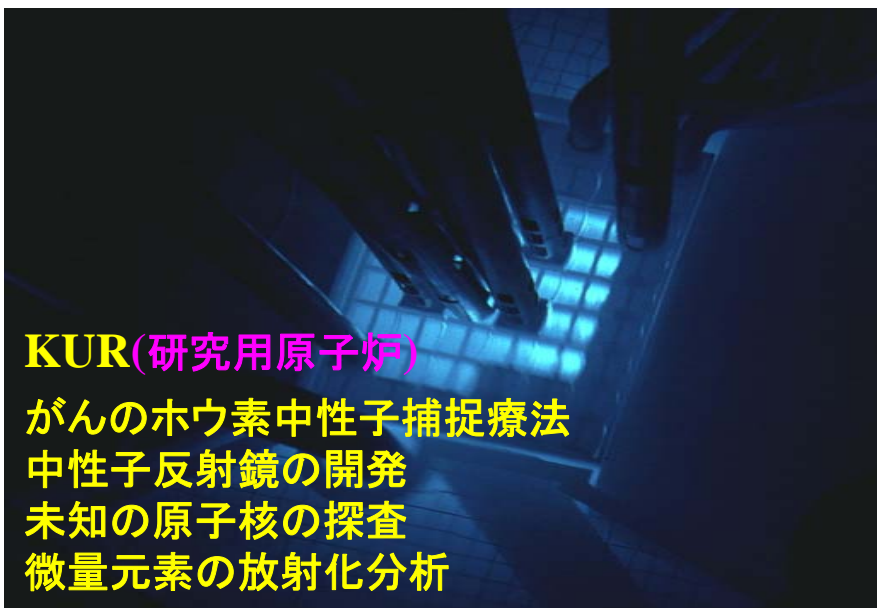
今西と伊谷の最初の
アフリカ探検1958年



FFAG(陽子加速器)
加速器駆動未臨界炉研究
加速器利用研究の新展開

原子炉実験所

全国共同利用



KUR(研究用原子炉)
がんのホウ素中性子捕捉療法
中性子反射鏡の開発
未知の原子核の探査
微量元素の放射化分析

KUCA(臨界集合体)
原子炉物理の実験研究
体験的原子力教育
国内11大学
韓国6大学
スウェーデン1大学

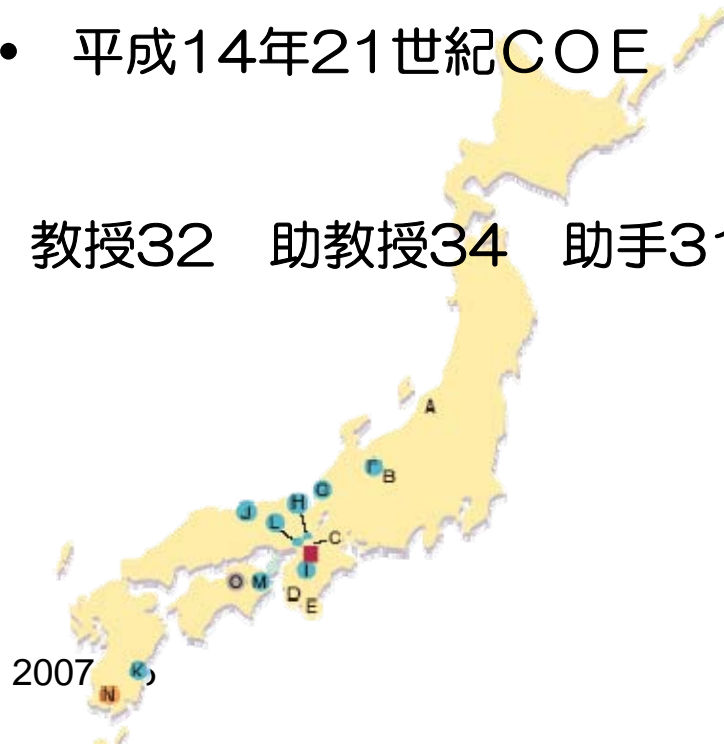


防災研究所

災害に関する学理の研究および防災に関する総合研究
のための全国共同利用研究所

- 昭和26年附置
- 平成8年全国共同利用研究所
- 平成9年COE
- 平成14年21世紀COE

教授32 助教授34 助手31



研究

4研究グループ
総合防災
地震・火山
地盤
大気・水
技術室

教育

大学院の協力講座
理学研究科
工学研究科
情報学研究科

京都大学生存圏研究所 全国共同利用研究所



全国・国際共同利用設備

生存圏研究所は、生存圏科学の拠点として、国内外の研究者に大型設備・装置を提供し、共同研究を行っています。



生存圏科学の創成を目指して、全国・国際共同利用を推進している

全国共同利用研究施設 京都大学生態学研究センター

「生物多様性科学」の創成を通して、生物多様性と生態系保全の理論の構築を目指しています



CERの森

生物多様性科学を
推進する国際的
中核研究拠点



生物ネットワーク



野外ガラス温室



調査船「はす」



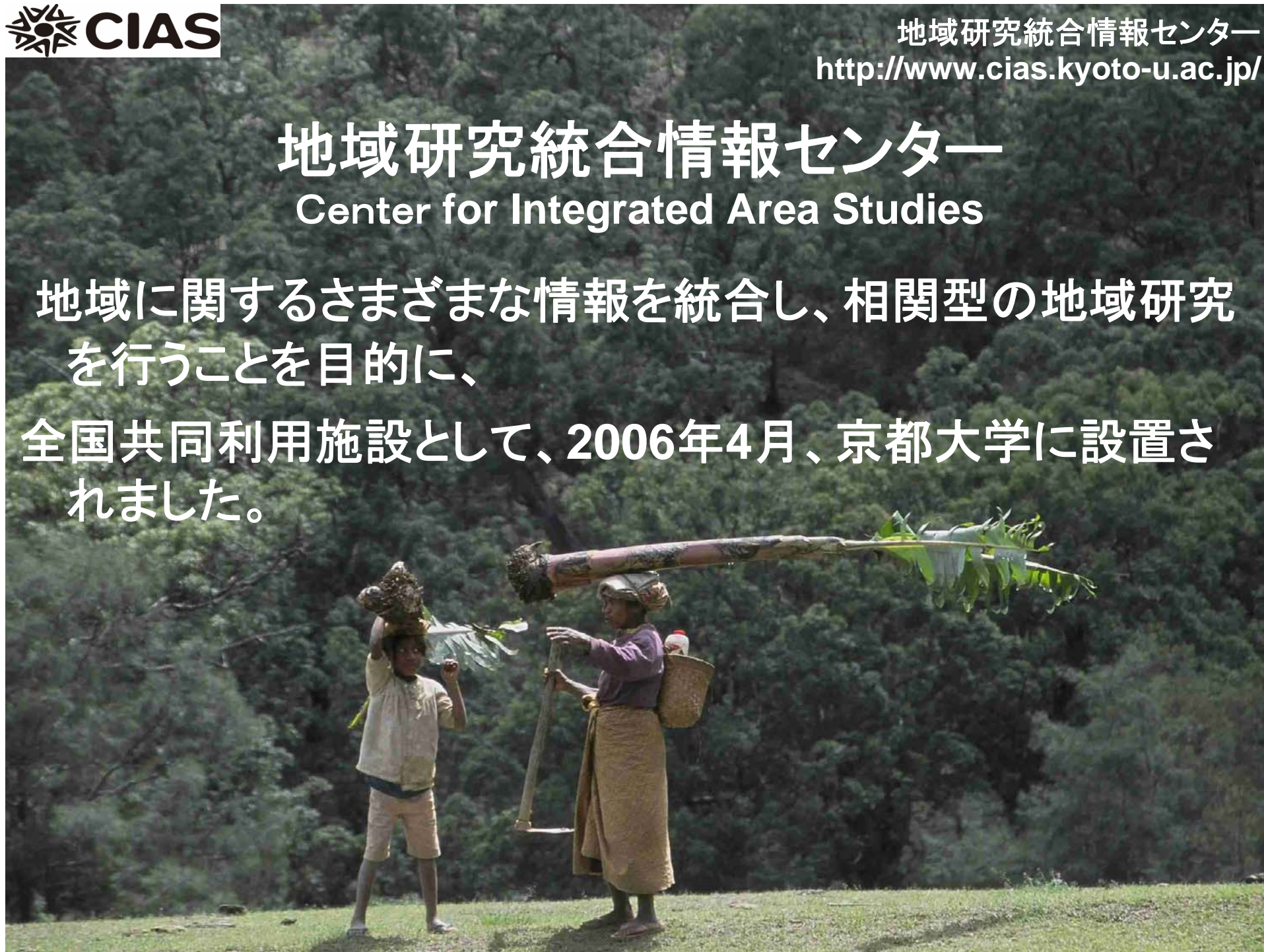
実験林園



地域研究統合情報センター

Center for Integrated Area Studies

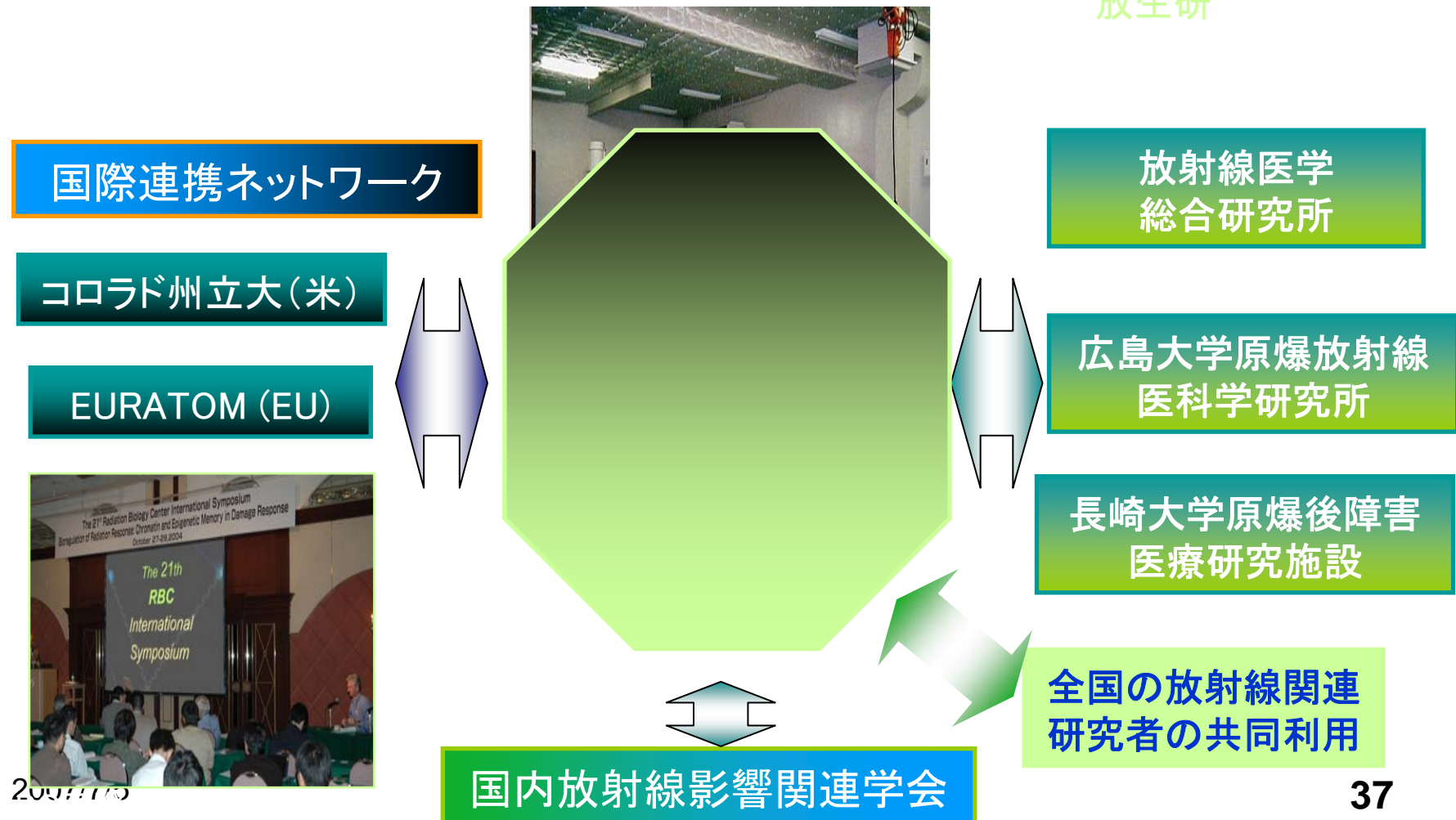
地域に関するさまざまな情報を統合し、相関型の地域研究を行うことを目的に、
全国共同利用施設として、2006年4月、京都大学に設置されました。



全国共同利用施設としての放射線生物研究センター



RBC
放生研



(非全国共同利用)
京都大学附置研究所・センター

- 化学研究所
- 再生医科学研究所
- ウィルス研究所
- エネルギー理工学
研究所
- 東南アジア研究所
- 人文学研究所
- 経済学研究所

フィールド科学研究センター
国際融合創造センター
福井謙一記念研究センター
低温科学研究センター
総合博物館
文書館
など